

楽譜の怪人

(注) この呼称はあくまでも自身の作曲した楽譜に対してのみで、
当然に通常はきちんとした音符記号です。
また他の作品に類似する内容ではありません。

AnMeiden op.2 の楽譜の中で、
左手用五線譜に多用している「4分休符記号」
私なりに「楽譜の怪人」と言っているが、強制的に休みを入れることが出来る嬉しく頼もしい音符でもある。(化け物や怪獣等ではない)

- ① その近辺のざわつき→五線譜の粗い部分
- ② 普通の人(♪) →少なからずの影響
(無理矢理 休みを入れられての影響ではない)

あたかもその様にも見えてしまう。

手書き楽譜ゆえの見方、
いつも 360 度の視点から物事を見て 色々観察したり思ったりする自分、
短編とはいえ短期間でゆうに 300 作品以上 (英語版とカバー表紙も付けて)・・・
まあ長文なので、Google 翻訳で英訳していますが、
他もろもろ全部並行しながらの「自分に課した日課」の継続の結果が、今ここにある。

ちなみに何度も念押ししますが、私は人を見た目では判断しないし、皆が個性である。